

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成21年9月10日(2009.9.10)

【公表番号】特表2009-502196(P2009-502196A)

【公表日】平成21年1月29日(2009.1.29)

【年通号数】公開・登録公報2009-004

【出願番号】特願2008-525040(P2008-525040)

【国際特許分類】

C 12 N 15/09 (2006.01)

C 12 Q 1/68 (2006.01)

【F I】

C 12 N 15/00 Z N A A

C 12 Q 1/68 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成21年7月23日(2009.7.23)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

サンプル中のBKVウイルス(BKV)核酸を検出する方法であって、前記サンプルを、SEQ ID NO: 1、2、4、および5のいずれか1つの標的配列またはその相補体にハイブリダイズするよう設計されたオリゴヌクレオチドと接触させ、ここで、前記オリゴヌクレオチドは、ハイブリダイゼーション条件下でBKVとJCウイルスとを識別することができ、そして

ハイブリダイゼーションを検出する、の各工程を含む方法。

【請求項2】

前記検出は、核酸に基づく增幅を含む、請求項1記載の方法。

【請求項3】

増幅産物は約30ヌクレオチド長またはそれ未満である、請求項2記載の方法。

【請求項4】

前記方法は、前記サンプルをSEQ ID NO: 1 - 5の標的配列またはその相補体の少なくとも2つとハイブリダイズするよう設計された少なくとも2つのオリゴヌクレオチドと接触させることを含み、ここで、前記オリゴヌクレオチドは、ハイブリダイゼーション条件下でBKVとJCウイルスとを識別することができる、請求項1 - 3のいずれかに記載の方法。

【請求項5】

前記オリゴヌクレオチドの少なくとも1つは、SEQ ID NO: 1の標的配列またはその相補体とハイブリダイズするよう設計されている、請求項1 - 4のいずれかに記載の方法。

【請求項6】

前記オリゴヌクレオチドの少なくとも1つは、SEQ ID NO: 1のヌクレオチド1 - 26、57 - 90、または94 - 119、またはその相補体を含む、請求項5記載の方法。

【請求項7】

前記オリゴヌクレオチドの少なくとも1つは、SEQ ID NO: 2の標的配列またはその相補体とハイブリダイズするよう設計されている、請求項1 - 6のいずれかに記載の方法。

**【請求項 8】**

前記オリゴヌクレオチドの少なくとも1つは、SEQ ID NO: 2のヌクレオチド33-50、52-80、または82-104、またはその相補体を含む、請求項7記載の方法。

**【請求項 9】**

前記オリゴヌクレオチドの少なくとも1つは、SEQ ID NO: 4の標的配列またはその相補体とハイブリダイズするよう設計されている、請求項1-8のいずれかに記載の方法。

**【請求項 10】**

前記オリゴヌクレオチドの少なくとも1つは、SEQ ID NO: 4のヌクレオチド1-19、32-62、または76-95、またはその相補体を含む、請求項9記載の方法。

**【請求項 11】**

前記オリゴヌクレオチドの少なくとも1つは、SEQ ID NO: 5の標的配列またはその相補体とハイブリダイズするよう設計されている、請求項1-10のいずれかに記載の方法。

**【請求項 12】**

前記オリゴヌクレオチドの少なくとも1つは、SEQ ID NO: 5のヌクレオチド2-18、19-41、または47-64、またはその相補体を含む、請求項11記載の方法。

**【請求項 13】**

前記オリゴヌクレオチドの少なくとも1つは、縮重オリゴヌクレオチドである、請求項1-12のいずれかに記載の方法。

**【請求項 14】**

前記オリゴヌクレオチドの少なくとも1つは検出可能な標識を含む、請求項1-13のいずれかに記載の方法。

**【請求項 15】**

前記検出可能な標識は蛍光体である、請求項14記載の方法。

**【請求項 16】**

下記のいずれか：

SEQ ID NO: 1またはその相補体、ここで、前記オリゴヌクレオチドは151ヌクレオチド長以下である、

SEQ ID NO: 2またはその相補体、ここで、前記オリゴヌクレオチドは128ヌクレオチド長以下である、

SEQ ID NO: 4またはその相補体、ここで、前記オリゴヌクレオチドは253ヌクレオチド長以下である、および

SEQ ID NO: 5またはその相補体、ここで、前記オリゴヌクレオチドは86ヌクレオチド長以下である、

の少なくとも20個の連続するヌクレオチドを含む単離された核酸。

**【請求項 17】**

前記核酸はさらに検出可能な標識を含む、請求項16記載の核酸。

**【誤訳訂正2】**

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0122

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0122】

サンプル中のBKVの検出

ある観点では、アッセイはサンプル中のBKVの存在を検出する。それらの観点では、アッセイは縮重プライマーおよびプローブを使用する、増幅に基づくアッセイであり、プライマーおよびプローブはBKVゲノムの標的核酸配列領域を増幅するように設計する。